

令和7年度第1回さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議（要旨）

- 1 日 時 令和7年8月25日（月）15：00～17：00
- 2 場 所 さぬき市役所本庁附属棟 多目的室
- 3 出席者 【委員】米田委員 小泉委員 長山委員 朝倉委員 白川委員 久保委員
藤原委員
【事務局】向井審議監 多田総務部長 多田政策課長
蓮井課長補佐 橋本係長
- 4 傍聴者 1名
- 5 会議次第
 - 1 開会
 - 2 座長挨拶
 - 3 議事
 - (1) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況及び最終評価・検証結果について
 - (2) 今後のスケジュールについて
 - 4 事務連絡
 - 5 閉会
- 6 配布資料 【資料1】第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査最終結果
【資料2】第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況調査票
【参考1】[令和5年度提言書]さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けて
【参考2】令和6年3月（改訂）第2期さぬき市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 7 議事の経過及び発言要旨

発言者	意見概要
	＜ 開 会 ＞（15：00）
政策課長	本日はご多忙の中、さぬき市まち・ひと・しごと創生有識者会議にご出席いただきましてありがとうございます。 それでは開会に先立ちまして、事務局が変わっておりますので、自己紹介をさせていただきます。
事務局	＜自己紹介＞
政策課長	また、今年度第一回目ということもあり、委員の皆様から簡単に、一言ずついただけ

	たらと思います。よろしくお願いします。
委員	(一言あいさつ)
政策課長	次に、会議の公開についてです。 さぬき市附属機関の委員の構成及び会議の公開に関する指針及びさぬき市情報公開条例に照らし、市の会議は原則公開であります。本有識者会議も、同様に公開させていただきますのでご承諾ください。
委員	(委員了解)
政策課長	ありがとうございます。 なお、本日の傍聴者は1名です。会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。
政策課長	それでは、開会にあたりまして、長山座長よりご挨拶をいただき、そのまま議事の進行に移りますようお願いします。ありがとうございました。
座長	(座長あいさつ) まず、本日の会議ですが、遅くとも17時を目途に終了したいと考えておりますのでご協力をお願いします。 それでは、議題に入ります。議題(1)「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI達成状況及び最終評価・検証結果について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<資料1、資料2等について説明>
座長	それでは事務局の説明につきまして、ご意見ご質問等、承ります。基本目標は4つありますので、4つに分けて伺いたいと思います。まず、基本目標1「誰もが生き生きと働くことができる環境をつくる」について、どなたからでもお願いします。
座長	意見はありませんか。 「企業誘致の促進」におけるKPI「企業立地件数」について、第2期総合戦略では5年間で約20件増やすという目標であったにもかかわらず、第3期総合戦略では約10件増やすという目標になっている。減少の理由は、企業誘致に活用できる市有地が

	枯渇しているということであるが、今後は、市内の既存企業の規模拡大や設備投資に力を入れていくという理解であっているか。
事務局	KPI の「企業立地件数」については、市の企業立地助成金による助成件数である。企業立地助成金には、新規及び市内の既存企業にかかわらず、工場の規模拡大や雇用者数の拡大について助成したものが含まれている。
座長	理解した。であれば、第3期総合戦略で「10件増やす」というのは、市内の既存企業の規模拡大や雇用の拡大を図ったものであり、新規の企業誘致はほとんどないということになるのか。市有地が枯渇しているので、新規を見込めなくても仕方がないということか。
委員	企業立地助成金と聞くと、大きな企業を想像してしまうが、条件は、どれほどの規模感か。小さい企業も活用可能か。
事務局	いくつか要件があるが、例えば工場を建てる・拡充する場合は、土地を除く投下固定資産額（建物、償却資産）が1千万円、小売施設の区分だと1億円以上である。
委員	大きな企業向けの支援と見受けられる。新しくさぬき市で起業したい・事業を始めたいと考えている移住者などは、できるだけ初期投資を少なくしたいと考えているため、手が出せない。そういった人たちのために、最低1千万円のハードルを下げる必要があるのではないか。
座長	創業支援については、別メニューで行っている。具体的には、どのような支援を行っているのか。
事務局	第2総合戦略では「関係機関と連携した創業支援」としているが、こちらは商工会が実施している創業塾を通じた支援である。年間で複数回受講すると、融資や税制の面で優遇が受けられたり、国の補助金を活用しやすくなったりするなどのメリットがある。
委員	若者や移住者などの創業の支援を充実させたいのであれば、市からの補助金を検討しても良いかと思う。
座長	他にも、さぬき市では「生産性を向上させるための設備投資の促進」を行っている。

	これは、中小企業・小規模事業者が策定する「先端設備等導入計画」を認定することで、事業者が固定資産税の特例措置を受けられるといったメリットがあるものだ。 「地域企業の競争力強化への支援」については、どういった事業か。
事務局	こちらは、さぬき市中小企業等振興基本条例に基づき、小規模な事業者に対して、新商品開発や広告宣伝費、販路拡大など 10 種類ほどのメニューで補助するものである。
座長	こう見ると、さぬき市は小規模事業者から大企業まで、まんべんなく支援しているように思える。本当は、「企業誘致の促進」のところで、目標を下げたのであれば、他の事業を拡充できれば良いのだが、現状を踏まえてのものなので、難しい所である。
委員	ひとつの提案だが、行政が空き家を買収して、企業誘致に活用できないだろうか。新しいものを建てるよりも、既存のものを活用したいと思う人もいる。また、既存の建物の改修に活用できる助成があればありがたい。 農地に関して言えば、宅地に変えることよりも、空き家をそのまま活用して住宅やオフィスにしてもらう方が、農地の減少を防ぐことになると思う。
座長	ここまでの話をまとめると、創業補助金や新規の企業誘致施策を除いては、さぬき市は一通り支援していることになる。
事務局	創業補助金に関して、行政では事業者の経営計画を正しく把握して補助するといったノウハウが圧倒的に足りない。仮に 100 万円～200 万円といった補助金を出して、一年後に創業した店が潰れましたでは、説明がつかない。創業の補助金は、難しいと考える。 その代わりに、「地域企業の競争力強化への支援」において、十分な金額ではないかもしれないが、創業した後の広告宣伝費や販路開拓費などを支援し、事業者を応援している。
委員	ここまでの話で、2 点発言する。1 点目は創業支援について、さぬき市は国や商工会など様々な機関と連携して実施しているとのことで、創業希望者がたらいまわしになり、途中で創業を諦めるといったことに陥ることだけは避けてもらいたい。市役所に相談することで、親切に関係機関に引き継いでもらうなど、これからも丁寧な支援に努めていただきたい。2 点目は、創業補助金について。国の補助金では、「目標数値を達成できていなかったら返還せよ」などといった制度になっていることが多い。こんな風に、市も返還要件を付した補助金をつくるなど、小さい事業を始めたいと思う

	人に支援があればありがたい。創業したいという熱い想いを持っている方の気持ちを大事にしてほしいと思う。
委員	人件費に活用できる補助金のメニューが欲しい。
事務局	人件費については、企業の利益から捻出するものであると考える。 また、中小企業等振興補助金のメニューは、事業者からのこれまでの相談案件等を考慮して今の形になっている。さらに申請者は、プレゼンテーションが不要なく、書類のみの審査になるので、使い勝手は良くなっていると思う。
座長	一旦ここまでにして、次は、農林水産業について。意見はあるか。
委員	コメ不足が深刻化している風潮的に、休耕田でお米を作りましょうといった、動きは市の中であるか。
事務局	聞いてはいない。
委員	国の方では、水をためない育て方など生産コストを低く抑えて、米の生産力強化に向けた動きがあるみたいだが、現在畑をしている方は、いまさらお米を作れないと思う。
委員	「遊休農地活用の促進」について、耕作放棄地が累計で 12ha 再生したとのことであるが、肌感として耕作放棄地は増えている。
事務局	これは、市の遊休農地活用事業で支援した（再生した）耕作放棄地の面積のことである。第 3 期総合戦略からは、一度再生したがその後に再び耕作放棄地に戻った面積も含めて、調査していくこととしている。 市の耕作放棄地自体は、毎年増えている現状である。
委員	農業ができなくなると草が生える。そうすると鳥獣害の被害も増えて、ますます手が付けられなくなるといった、悪循環に陥ってしまう。
座長	焼け石に水の状態かもしれないが、市の遊休農地活用事業は続けた方が良いと思う。次は、基本目標 2 「さぬき市への人の流れをつくる」だが、なにかご意見はあるか。気になる所としては、「遊休農地活用の促進」において、住宅の新築軒数が大幅に減少していることだ。

委員	私見ではあるが、香川県全体で住宅着工件数自体が減っている。物価の高騰が一番の要因だと思う。
委員	さぬき市の場合は、空き家の利活用に重点を置いた方が良いと思う。
座長	空き家の利活用支援については、「空き家バンク」の登録やリフォーム補助を行っている。金額はいくら程か。
事務局	補助率 1/2 で、最大 1 1 0 万円の補助である。
座長	新築に手が出せない状況であるならば、空き家改修補助金の方を手厚くしても良いかもしれない。年度内で予算に到達したら終わりというのは、気の毒な気もする。
委員	空き家改修補助金について、民泊などへの改修に活用できるのか。
事務局	市の空き家リフォーム支援事業では、住宅用に限ったものである。
委員	商業用に活用できる支援策を検討しても良いと思う。地域の活性化にもつながるだろう。
委員	現在、外国人の雇用が進んでいるが、会社が一軒家を用意し、外国人 4～5 人をルームシェアで住まわしている。そちらの方が家電の整備等の関係で、効率が良いといった話を聞く。これからそういった事例が増えていくかもしれない。
座長	空き家のリフォームについては、企業も活用可能とするなど、要件を緩和しても良いかと思う。 次の、基本目標 3 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、意見はあるか。
委員	特にない。
座長	次は、基本目標 4 「生きがいをもって、安心して住み続けられる地域社会をつくる」であるが、何か意見はあるか。 「目的に応じて選択できる公共交通の推進」について、第 3 期総合戦略からは、コミュニティバスの利用者数を KPI としているが、利用者数が減ったとしても、使って

	いる人がいる限り、撤退は難しいと思う。
委員	民間事業者において、公共交通に代わる動きが出来たらよいと思うが。
委員	免許返納した高齢者が困るのは買い物である。そこをカバー出来たらよいと思う。
座長	高松市の街中でも、民間の移動販売車が増えている。近くでもわざわざ電車に乗りたくないのが理由だと聞いている。山間部などは特に、これから行政が補助金を出してでも移動販売車に来ていただかなくてはならないのかもしれない。
委員	スマホが使える人にとっては、シェアタクシーなどの動きもあるようなので、地方にも広がれば良いなと思う。
座長	白タクではないが、規制緩和をして、地域が地域の方を運べるような動きが進めれば良い。
事務局	さぬき市内でも、法の規制に抵触しないで地域タクシーのような動きを進めているところもあるが、実際は利用者が少ないと担当課から聞いている。
座長	高松市の地域で、要介護者等に限定した福祉タクシーなどの動きがあるが、気兼ねなく使えるかどうかポイントだと思う。そういう意味では、コミュニティバスは利用しやすいものだと思う。 他にご意見はあるか。
委員	特になし。
座長	この場で出なくても、ご意見やご提案がある場合は、後日、意見書に記載して提出することも可能なので、お願いしたい。 全体を通して、なにかコメントあるか。
委員	瀬戸内国際芸術祭について、反響はあったのか。聞く話では、外国人も含む大勢の観光客が訪れたことで地域がにぎわったり、地元の方や市外県外からたくさんのお手伝いの協力があったことで、さぬき市が活気づいたようだ。 また、大串半島も整備されてお客さんが増えている。このようにさぬき市は、衰退していくばかりでなく、何かのきっかけでプラスになっていることもあると感じてい

	る。
座長	瀬戸内国際芸術祭の集客はいかがか。
事務局	肌感覚では非常に多い。お盆や休日特に多く、平日でも歩いている観光客をよく見る。
委員	確かに、志度・津田エリアは人がにぎわっているかもしれないが、瀬戸芸から外れたエリア、特に山手はそのような印象を受けない。県外ナンバーの車は思ったより少ないと思う。
委員	まずは、瀬戸芸でさぬき市を知ってくれたというのは嬉しい。次は、ここからどれだけリピートにつながられるかも大事だと思う。
委員	瀬戸芸のパンフレットに使われている、デザインや写真がとてもきれいで、見やすかった。英語版も充実していて、外国の方はありがたかったと思う。
事務局	瀬戸芸の実績・効果については、アンケートをとっているので、結果をみてみたい。
座長	次の議題の「今後のスケジュール」について事務局から説明をお願いしたい。
事務局	<事務局説明>
座長	それでは、本日はこれにて閉会いたします。 どうもご協力ありがとうございました。 < 閉 会 > (17 : 00)